

令和2年度

岩手地区青少年健全育成地区民大会



テーマ 「育てよう 自然を愛する心 思いやりの心」

日時 令和2年12月20日(日) 午前9時～
場所 岩手地区まちづくりセンター・大会議室
主催 岩手地区まちづくり協議会 青少年育成協力推進員会
協力 北中学校 岩手小学校 子ども会育成会 スポーツ少年団

大会次第【9:00～9:45】

開会 <司会・進行 青少年育成協力推進員会・副会長 高木 陽平>

開会のあいさつ

まち協こども育成部・部長 小坂 厚樹

垂井町民憲章唱和

岩手小学校PTA会長 吉田 英治

主催者あいさつ

岩手地区まちづくり協議会・会長 鈴木 準二

表彰

谷そばの会 代表 高木 隆雄 様
北中学校地区長 高木 駿さん 浦上 実弓さん 小坂 杏樹さん
兒玉 遥輝さん 高木 瑛水さん 神戸 愛子さん
川口 栞奈さん 秋元 琢磨さん 西川 魁人さん
外羽 萌莉さん 山田 莉子さん



来賓あいさつ

岐阜県議会議員 藤墳 守 様
垂井町長 早野 博文 様

来賓紹介

体験発表

吃音症と闘うぼく 岩手小学校6年 林 郁斗 さん
命の大切さ 北中学校 2年 外羽 優莉 さん
新人戦優勝 岩手小学校4年 内海清太郎 さん
// 岩手小学校4年 熊崎 恒貴 さん
// 岩手小学校4年 栗田 煌空 さん
// 岩手小学校4年 安田 凌 さん

講評

垂井町教育委員会教育長 和田 満 様

青少年育成活動報告

青少年育成協力推進員会・会長 高木 智司

大会宣言

子ども会育成会・会長 山口 真梨子

閉会のあいさつ

まち協こども育成部・副部長 樽角 誠

令和2年度・青少年育成事業報告

今年1月6日に中国武漢で発見された新型コロナウイルス感染症は、16日には日本でも感染が確認され、2月には横浜港に感染者が乗船したクルーズ船が入港して船内の感染拡大が見られ、更に下船した乗客や、外国からの帰国者により国内への感染拡大につながりました。

こうした状況を受け、3月に入ると政府は全国の小中高校に休校を要請、4月には全国的に緊急事態宣言が発せられ、密閉、密集、密接を避けることが求められました。

そのため、子ども教室（菁莪塾）をはじめとして、まちづくり協議会の主要事業が中止されるなか、中学生によるボランティア活動も行うことができない状況となり、今日にいたっています。

当初の計画と今日までの状況を報告いたします。（黄色の枠内のみ実施）

【菁莪塾】こども育成部と青少年育成協力推進員会で運営 ★土曜授業日

講座名	開催予定日	講師など
地域歴史★（6年生）	5/9	水野 幸治 氏 11月14日に実施
ほたる観察（希望者）	6/6	片岡 兼男 氏
プログラミング教室（希望者）	7/29.30	高木 敏彰 氏
あゆつかみ（希望者）	8/1	青推会長
エコ科学工作★（3.4年生）	10/3	片岡 兼男 氏
料理教室★（5年生）	10/9	垂井町食生活改善協議会
星空観察（希望者）	11/21	渡邊 裕之 氏
リース作り★（1.2年親子）	12/12	高木 幸子 氏
そば打ち教室（6年希望者）	2/6	谷そばの会

【中学生の社会参加活動】地区長や有志による活動

開催予定日	活動内容など
5/10	地区長会議
6/6	ホタル観察会(誘導、バザー出店)
6/28	七夕飾り 環境美化看板作り
7/19	ラジオ体操大会(模範演技・整列等)
7/26	県道53号沿い他美化活動
7/29.30	プログラミング教室協力
8/14	夏まつり(バザー出店)
9/21	岩手地区運動会運営協力
11/1.2.3	地区芸術文化祭(放送・道具・会場係協力)
12/20	青少年健全育成地区民大会

【環境づくり事業：青少年育成協力推進員会の活動】

活動日	活動内容など
4/19	第1回委員会（書面にて）
6/28	第2回委員会・七夕飾り
7/5・26	あじさい花壇の整備・環境美化活動 雨のため中止
8/23	あじさい花壇の整備
10/21,11/21	小学校でプランター、花壇への花苗植え
12/5	第3回委員会（地区民大会について）



青少年育成の啓発に関わるのぼり旗作成・設置を行います

岩手小学校児童一人一人の標語を、のぼり旗にして各自治会に掲げ、青少年育成は岩手地区の全ての住民課題であることを認識して頂き、行動に結び付けてもらうきっかけとします。

【 活動の成果と課題 】

この一年を振り返った時、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により、地域子ども教室（菁莪塾）や北中学生ボランティアの活動など例年通りの活動ができませんでした。

青少年健全育成協力推進委員会（略称「青推」）との中心的な活動である青少年育成地域づくり推進事業は、北中学校地区長との協働事業として環境美化活動、環境看板づくりなどがありますが、これらについても天候などの都合やコロナ感染症対策により実施できませんでした。

そうした中で、地域づくり事業として岩手小学校児童の「標語」を「のぼり旗」として岩手地区の各自治会に掲示し、青少年育成は地域ぐるみで行うとの意識の醸成を図る活動を展開します。

誰もが予測できなかった新型コロナウイルス感染症の発症・拡大により、社会活動が大きく制限され、その波は、青少年育成の活動にも大きな影響を与えました。

こうした経験を今後の活動にどのように活かしていくのかが課題であり、来年度に向けて「岩手まち協」と「岩手青推」が議論を深めアフターコロナの在り方を考え実践に結び付けていきます。

青少年健全育成地区民大会・大会宣言

青少年は、明日の地域社会の担い手として、かけがいのない存在であり、青少年が自立し、かつ社会の一員として責任を果たし、すこやかに育っていくことは、岩手地区の全ての住民の願いです。

この願いの実現にあたっては、地域の青少年を愛情と信頼のもとに、たくましく育て、社会活動を通じて連帯感を高め、社会に貢献できる人間性を育てることが大切です。

近年、インターネットや携帯電話などのITメディアを、青少年が多く利用することによって従来では考えられなかった、いじめや問題行動が低年齢化、多様化し、拡大の傾向にあることは周知の通りです。

私たち岩手地区の住民は、一人一人が、こうした青少年の諸問題を真剣に考え、関係諸機関・諸団体の協力のもとに、地域ぐるみで以下のような活動を展開することを宣言します。

- 家族そろって楽しく食事をしたり、親子の対話をしたりして、温かい家庭づくりに努めます。
- 心の通う、明るく住みよい地域づくりをするために、大人から子供へのあいさつに努めます。
- 青少年が健全に育つため、家庭、学校、自治会が連携し、大人が子供の模範となる行動に努めます。



垂井町民憲章



私たちは、伊吹おろしの風雪に耐えてきた垂井町の町民です。

私たちは、みんなで力を合わせて、いきいきとしたよい町づくりにねがいをこめて、この町民憲章を定めます。

ひとつ

— 緑と花と太陽のある明るいまちをつくりましょう。

ひとつ

— きまりを守り、老いも若きも手を取りあって幸せの輪をひろげましょう。

ひとつ

— からだをきたえ、仕事にはげみ、くらしに生きがいをみつけましょう。

ひとつ

— 香り高い文化にしたしみ、こころ豊かな教養を身につけましょう。

ひとつ

— 青少年に希望と誇りをもたせ、伸びゆくまちをめざしましょう。



岩手地区における青少年健全育成の指針

- 明るいあいさつができる青少年を育てよう。
- お互いに思いやりの心をもって、人に接する青少年を育てよう。
- 善悪の判断ができ、忍耐力のある青少年を育てよう。
- 社会参加に努め、ふるさとを愛する青少年を育てよう。
- 明日への希望を持ち、自立する青少年を育てよう。

青少年育成協力推進委員会

会長	高木 智司	委員	栗田 清和
副会長	高木 陽平	//	小川 修
//	栗田 欣美	//	川地 優次
//	清水 健一	//	内海 隆司
委員	岩根 雅晴	//	松岡 和義
//	下林 亮二	//	衣斐 一浩

大会開催中は、マスク着用をお願いします。ご協力ありがとうございます。

